

# カートリッジ・ハウジング 取扱説明書



**ネットアンドサービス株式会社**

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-10-25

TEL 03-3946-5071 FAX 03-3946-7921

ろ過器ドットコム :<http://www.rokaki.com>

環境ネットドットコム :<http://www.kankyo-net.com>

# カートリッジ・ハウジング取扱説明書

この度はカートリッジハウジングをご購入いただき、誠にありがとうございます。本器は簡単な操作で使用できますが、間違った使用を避けるためご使用前に本説明書を必ずお読み下さい。

## 1 ⚠ 警告

カートリッジハウジングを叩いたり、傷つけたり、落としたりすると濾過中に破損する場合があります。

凍結をすると破損をしますので、必ず凍結の防止工事を行って下さい。

SAN 型ハウジングで、溶剤の濾過や溶剤での洗浄は破損の原因になりますので使用しないで下さい。

本体が樹脂製のため紫外線には弱いので、必ず直射日光が当たらないように設置して下さい。

化学薬品を使用する際は、必ず保護メガネやマスク、手袋、長靴等を着用し注意して使用下さい。

特にエア-抜きタイプで化学薬品を濾過する場合には、エア-抜きより薬品が出ますので、顔や体にかからないよう十分注意して下さい。

化学薬品が皮膚や目に入った場合には、すぐに大量の清水で良く洗い状況に応じて医師の診察を受けて下さい。

## 2 ⚠ 注意

カートリッジハウジングは耐薬品性、耐熱、耐圧、流量等に必ず問題がないか調査してから選定して下さい。

入り口配管に金属配管を使用する場合は締めすぎに注意して下さい。ハウジングに亀裂が生じる場合があります。

ハウジングは必ず上部を固定して使用下さい。(上部にはタッピングネジをねじ込む下孔があいています)

設置は必ずカートリッジエレメントが交換し易い場所に設置して下さい。

入口 (IN)、出口 (OUT)を必ず確認してから配管して下さい。

カートリッジエレメントを交換する為に、必ず入口や出口にバルブを設けて下さい。

(交換時にカートリッジハウジングに圧力がかからなかったり、濾過液が出てこない場合にはこの限りではありません)

### カートリッジエレメント (インドタイプ)



TPK 型

SAN250 型

### カートリッジハウジング



PP250 型

PP500 型

PPB250 型

PPB500 型

## 3. カートリッジエレメントのセット方法

1. 本体を反時計方向に回して下さい。本体が上部キャップ (配管部分) より外れます。  
(回しにくい場合には、オプションにて締め付ける為の締め具もご用意しております)
2. 本体部分の内側にカートリッジエレメントを上から差し込みます。本体内部底のガイドにカートリッジエレメントの孔をあわせて差し込みます。
3. エレメントを入れた本体をキャップのネジに合わせ本体を時計方向に回します。緩く締めると漏れの原因になりますので、必ず注意して下さい。

**⚠ 注意** 試運転の時は、必ず清水で配管やカートリッジの漏れを確認してから薬品の濾過を行って下さい。

## 4. カートリッジエレメントの取り出し方法

1. カートリッジエレメントを取り外す場合は、すぐ本体を回さずに必ず内圧を抜いてから行って下さい。
2. 濾過ポンプを停止（または前後のバルブを閉にする）します。エア-抜き付きタイプは赤いボタンを押すと液が噴き出しますので、バケツ等の容器を用意し注意して液を受けて下さい。
3. 本体を反時計方向に回し、内部の液をこぼさないよう取り外して下さい。（液はバケツ等の容器に受けて下さい。）
4. 本体からカートリッジエレメントを抜いて下さい。

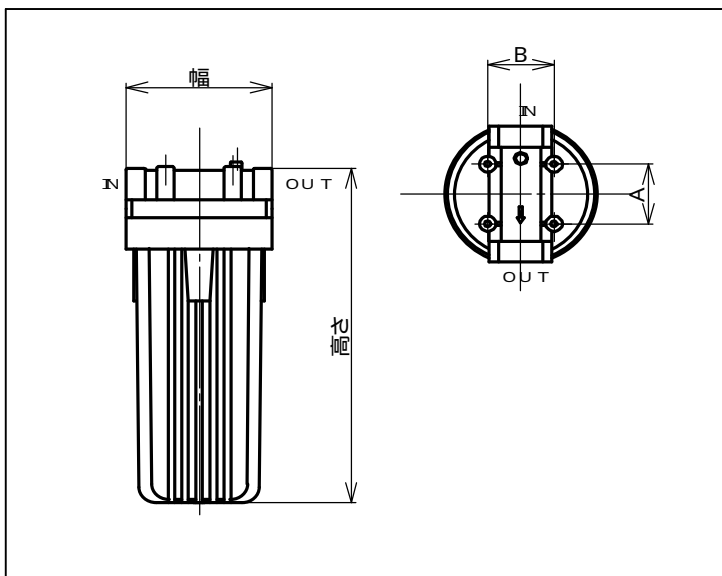
**⚠ 注意** 化学薬品を使用する場合には、必ず保護メガネやマスク、手袋、長靴等を着用し注意して使用下さい。  
特にエア-抜きタイプで化学薬品を濾過する場合には、エア-抜きより薬品が出ますので顔や体にかからないよう十分注意して下さい。

## 5. 仕様

名称	標準カートリッジハウジング						BIGカートリッジハウジング				
型式	SAN250N	SAN250	PP250N	PP250	PP500N	PP500	PPB250N	PPB250	PPB500N	PPB500	
	I7-抜き無	I7-抜き付	I7-抜き無	I7-抜き付	I7-抜き無	I7-抜き付	I7-抜き無	I7-抜き付	I7-抜き無	I7-抜き付	
材質	キャップ部	ポリプロピレン									
	本体	スチレンアクリロニトリル		ポリプロピレン							
	エア抜き	-	ステンレス	-	ステンレス	-	ステンレス	-	ステンレス	-	ステンレス
	O-リング	NBR									
流量範囲	3.8 ~ 27 L/min				3.8 ~ 57 L/min		3.8 ~ 151 L/min		3.8 ~ 189 L/min		
規格	FDA規格品(米国)										
口径	3/4" NPT						1 1/2" NPT				
適用カートリッジ	248 ~ 254mm				508mm		大型248 ~ 254mm		大型508mm		
耐圧(kg/cm <sup>2</sup> )	8.5						6				
耐熱温度(°C)	51						37.7				
重量(kg)	1.2		1.3		2		2.1		3.1		
外形寸法(mm)	130 × 311		130 × 311		130 × 568		186 × 346		186 × 606		
取付金具寸法 A × B (mm)	57 × 60		57 × 60		57 × 60		75 × 75		75 × 75		

オプションにて締め具、取付金具、ネジ等もありますのでお問い合わせ下さい。

### 外形図



### オプション



# スパンカートリッジフィルター

## 取扱説明書

このたびは、スパンカートリッジフィルターをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本製品は簡単な操作で使用できますが間違った使用を避けるため、ご使用になる前に本説明書を必ずお読み下さい。

### ⚠ 警告

このスパンカートリッジフィルターは、不純物等を除去する為に設計されたもので、バクテリアや細菌を除去するものではありません。微生物学的な安全性が確認されていない水には、必ずカートリッジフィルターの前後に適切な滅菌処置をしなければなりません。

## 1. 運転仕様

型式	適応機種	ミクロン数 (公称)	流量 (MAX) l/min	耐熱温度 (MAX)	材質	直径×全長 mm
P1-10	SAN/PP250	1	38	63	ポリプロピレン	61×251
P1-20	PP500		76			61×508
P5-10	SAN/PP250	5	38			61×251
P5-20	PP500		76			61×508



P5-20型 P5-10型

## 2. 設置

本製品を設置する際は、カートリッジハウジングの取扱説明書に従って行って下さい。また設置が完了しましたら、必ず濾過水がきれいになるまで5分間位通水をして下さい。

### ⚠ 注意

長期間使用をしなかった場合は、使用をする前に必ず5～6分くらい流水をして下さい。カートリッジには使用期限があります。カートリッジにひび割れが生じたり、硬化をした場合また、濾過水の量が急激に多くなったり、臭いや変色等が発生した場合は必ず新しいものに交換をして下さい。

# プリーツカートリッジフィルター 取扱説明書

このたびは、プリーツカートリッジフィルターをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。  
本製品は簡単な操作で使用できますが間違った使用を避けるため、ご使用になる前に本説明書を  
必ずお読み下さい。

## ⚠ 警告

このプリーツカートリッジフィルターは、不純物等を除去する為に設計されたもので、バクテリア  
や細菌を除去するものではありません。微生物学的な安全性が確認されていない水には、必  
ずカートリッジフィルターの前後に適切な滅菌処置をしなければなりません。

## 1. 運転仕様

型式	適応機種	ミクロン数 (公称)	流量 (MAX) l/min	耐熱温度 (MAX)	材質	直径×全長	梱包 単位
R30-10	250用	30	45	51	ポリエステル	67X248	24
R30-20	500用		90		ポリプロピレン	67X508	14
R30BB-10	PPB250用	30	95	51	ポリエステル	114X248	24
R30BB-20	PPB500用		190		ポリプロピレン	114X508	14



## 2. 設置

本製品を設置する際は、カートリッジハウジングの取扱説明書に従い行って下さい。  
また設置が完了しましたら、必ず濾過水がきれいになるまで5分間位通水をして下さい。

## 3. 洗浄

カートリッジを洗浄する際は、カートリッジに水圧をかけながら洗い流して下さい。また、  
石鹸等の洗剤を使用したり、ブラシ等使用して洗浄をすると破損の原因になるため絶対にしないで下さい。

## ⚠ 注意

水の使用に限ります。温水には使用不可です。  
長期間使用をしなかった場合は、使用をする前に必ず5～6分くらい流水をして下さい。  
カートリッジは大変衝撃に弱い材質のため簡単に壊れてしまいます。  
急激な流速変化や、本体を落下させたり凍結させた場合は、カートリッジの破損(ひび割れ)の原因になり  
ますので取扱には十分注意して下さい。  
カートリッジには使用期限があります。カートリッジにひび割れが生じたり、固化をした場合また、濾過水の量が  
急激に多くなったり、臭いや変色等が発生した場合は必ず新しいものに交換をして下さい。

# カーボンカートリッジフィルター 取扱説明書

このたびは、カーボンカートリッジフィルターをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本製品は簡単な操作で使用できますが間違った使用を避けるため、ご使用になる前に本説明書を必ずお読み下さい。

## ⚠ 警告

このカーボンカートリッジフィルターは、不純物、塩素、脱臭等の除去をするために設計されたもので、バクテリアや細菌を除去するためのものではありません。必ずカートリッジフィルターの前後に適切な滅菌処置をしなければなりません。

## 1. 運転仕様

品名	型式	適応機種	ミクロン数 (公称)	最大流量 L/min	最高使用温度	材質	直径×全長 (mm)
標準カーボン	C1-10	SAN/PP250	5	19	51.6	活性炭 ポリプロピレン ポリエステル NBRパッキン	64X248
	C1-20	PP500		38			64X508
BIGカーボン	NCP-BB-10	PPB250	10	30	66		114X248
	NCP-BB-20	PPB500		60			114X508



## 2. 設置

本製品を設置する際は、カートリッジハウジングの取扱説明書に従って行って下さい。また、設置が完了しましたら必ず濾過水がきれいになるまで5分間位通水をして下さい。

## ⚠ 注意

飲料水や料理としての目的で使用する場合は、必ず使用する前に最低20秒間位水を蛇口より流水させて下さい。

水の使用に限ります。温水には使用不可です。

カートリッジには使用期限がありますので、定期的に交換を行って下さい。

長期間使用をしなかった場合は、使用する前に必ず5～6分位流水をして下さい。

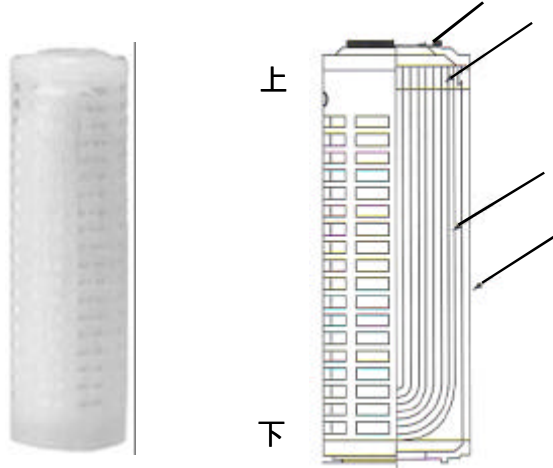
カートリッジは大変衝撃に弱い材質のため、簡単に壊れてしまいます。急激な流速変化や本体を落下させたり凍結させた場合等は、カートリッジの破損（ひび割れ）の原因になりますので取扱には十分注意をして下さい。

カートリッジにひび割れが生じたりカビが発生しカビ臭くなったり、固化をした場合は必ず新しいものに取り替えて下さい。

# 中空系カートリッジフィルター取扱説明書

このたびは、中空系カートリッジフィルター-YHF型をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本製品は簡単な操作で使用できますが間違った使用を避けるため、ご使用になる前に本説明書を必ずお読み下さい。

YHF 型



## ⚠ 注意

ハウジングにセットする場合は、上下をよく確認し間違わないよう注意して下さい。

材質表

NO.	品名	材質
	中空系膜	ポリスルタン
	ポッティング材	ポリスルタン
	ケース	ポリプロピレン
	O-リング	EPDM

## ⚠ 危険

人体に有害な物質を液の取り扱いにご注意下さい。

本カートリッジフィルターは優れた耐薬品性を有している為、酸やアルカリ、メチルアルコール等の人体に有害な物質を含む液についても使用することが可能です。万一誤ってこれらの液を皮膚に付着させたり、目に入れた場合は直ちに大量に水で洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。

ハウジングの蓋部は確実に閉めた上でご使用下さい。

フィルターハウジングは圧力容器の一種です。フィルター交換用の蓋部が確実に締まっていないうちにご使用されると、液が噴き出したり、蓋部が破損し吹き飛ばすことがあります。危険です。

ハウジング内の圧力を抜いてフィルターを交換して下さい。

カートリッジフィルターのハウジングへの取付け、取外しの前には必ずハウジング内の圧力を抜いて下さい。ハウジング内から液が噴き出す恐れがあります。危険です。

ハウジング内の空気抜きを行う場合は次の点にご注意下さい。

運転初期には、ハウジング内の空気抜きを行って下さい。空気が入った状態での連続運転は危険です。ハウジング内の空気たまりを抜く時は、ハウジング内の液も出ますので、空気抜きバルブの先に排出用の耐薬品性の合成樹脂ホース等をホースバンド等で外れないようにしっかり取り付けて、出てきた液が飛散しないようにして下さい。特に人体に有害な物質を含む液の場合は注意を要します。

過大なる過圧をかけないで下さい。

定速ろ過でカートリッジフィルターを使用しますと、ろ過の進行と共に徐々にろ過圧が増大し、寿命に近づきますとろ過圧は急増します。過大なる過圧はカートリッジフィルターの破損の原因になります。

## ⚠ 注意

強い衝撃をあたえないで下さい。

カートリッジフィルターを投げつけたり、落下させたりして強い衝撃を与えると、変形や亀裂が生じ、フィルターとしての機能を損なう原因になります。

高温・多湿の雰囲気下で放置しないで下さい。

カートリッジフィルターはプラスチック製品です。高温・多湿の雰囲気中に長時間放置されると、変形や劣化等による製品劣化の原因となります。

性能諸元範囲を越えてのご使用はしないで下さい。

耐熱、耐圧、耐薬品性等の性能諸元を越えてご使用されますと変形や破損等、製品が劣化します。又性能諸元内であってもご使用になる温度や薬品等によっては製品が劣化する場合がありますので、個々のケースについてはお問い合わせ下さい。

フィルターの取付けにご注意下さい。

ハウジングフィルターを取り付ける時には、ガスケットやフィルターの位置を正しく取付け、固定治具等の暖かみのない所を確認して下さい。不完全な取付けは、漏れの原因になります。

運転開始時の液漏れをチェックして下さい。

フィルターを用いてろ過運転をする時にはハウジングから液が漏れていないことを確認して下さい。液漏れを発見した場合は一旦運転を止めて、ハウジング内の気圧抜き、フィルター及びハウジングを正しくセットし直して下さい。

フィルターの廃棄は適切に行って下さい。

使用済みのカートリッジフィルターは産業廃棄物として適切に廃棄して下さい。特に人体に有害な物質を含む液で使用した場合は、カートリッジフィルターを取り外す前にハウジングに清水を入れ、ろ過洗浄して下さい。又その際の洗浄ろ液は適切に回収処理して下さい。

# セラミックカートリッジフィルター 取扱説明書

このたびは、セラミックカートリッジフィルター CRE-10 (CRE-1) 型をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本製品は簡単な操作で使用できますが間違った使用を避けるため、ご使用になる前に本説明書を必ずお読み下さい。

**⚠ 警告** このセラミックカートリッジフィルターは、クリプトスポリジウム<sup>(1)</sup>とジアルジア<sup>(2)</sup>等を減少させる為に設計されたもので、バクテリアを除去するものではありません。また、本製品はクリプトスポリジウム等に汚染された水に使用しますが、微生物学的な安全性が確認されていない水には、必ずカートリッジフィルターの前後に適切な滅菌処置をしなければなりません。

## 1. 運転仕様

最高温度 :52、最大圧力損失 :6.3kgf/cm<sup>2</sup>、流量 :3.9L/min(圧力 4.2kgf/cm<sup>2</sup>)

## 2. 設置

本製品を設置する際は、カートリッジハウジングの取扱説明書に従い行って下さい。また、設置が完了しましたら、必ず濾過水がきれいになるまで通水をして下さい。

### ⚠ 注意

カートリッジ(セラミック)は大変衝撃に弱い材質のため簡単に壊れてしまいます。急激な流速変化や、本体を落下させたり凍結させた場合等は、カートリッジの破損(ひび割れ)の原因になりますので取扱には十分注意して下さい。カートリッジにひび割れが生じたり、固化をした場合は必ず新しいものに取り替えて下さい。

## 3. 洗浄

カートリッジを洗浄する際は、硬いナイロンブラシや粗い布等を使用し、水を流しながらエンドキャップから中心方向にブラッシングして洗浄を行って下さい。また、石鹼等の洗剤を使用したり、逆方向からの洗浄(ブラッシング)は破損の原因になる為絶対にしないで下さい。カートリッジ(セラミック:直径44mm、円周150mm)は、洗浄を行うごとにセラミックの薄い層が少しずつ削られますが、直径38mm、円周120mmになるまで使用する事ができます。(円周は、布テープや糸等をカートリッジの周りに回して測ることができます。)

### ⚠ 注意

カートリッジは、衛生のため必ず定期的に洗浄をして下さい。但し、セラミックの変色や錆び等を、元の原色になるまで洗い落とす必要はありません。洗剤を使用したり、逆方向からの洗浄(ブラッシング)は絶対にしないで下さい。

1 クリプトスポリジウム :孢子虫類のククシジウム目に属する寄生性原虫。動物に感染するものや、胃に寄生する大型種と腸管に寄生する小型種とがある。宿主(人間や牛など)の外、つまり環境中では、クリプトスポリジウムはオーシスト(嚢胞体)の形で存在しており増殖する事はない。感染すると腹痛を伴う水様性下痢が3日~1週間程度持続し、嘔吐や発熱を伴うこともある。アフリカや中南米では、クリプトスポリジウムの感染率が10%を越える国もあり相互の渡航者が増加する場合、日本での感染症発生が増加するおそれがある。

2 ジアルジアランブリア 別名ランブル鞭毛虫とも呼ばれる。ジアルジア症は嚢子によって汚染された水や食物の経口摂取による。本原虫の寄生による主な症状は下痢、腹痛で、下痢は脂肪便(ジアルジア性下痢)であることが多い。また、胆嚢炎や胆肝炎の原因となることも知られている。ジアルジアの分布は広く、世界中のほとんどの国で有病地を抱えている。水系感染による集団発生は欧米を中心に多数の事例が報告されているが、多くは表流水を塩素で簡易に処理したのみで飲料水に供していた。

